

作成日 平成30年6月1日
改定日

施工仕様書 「マデストーンVS」

特記 微弾性シリコンフレーク配合多彩陶石御影石調仕上
 用途 建築物(新築・改修)の内外壁面
 適用下地 コンクリート面・セメントモルタル面・プレキャストコンクリート部材・ALCパネル・その他各種板・ボード類等
 施工不可部位 天端(笠木・手すり・セットバック等)や幅木、パラペットへの施工は避けて下さい

- ※ 本施工の前に必ず試験吹き(試験塗り)を行い、希釈量(粘度)・塗布量(厚み)・色調等を確認し、標準見本が再現できるよう確認してください。
- ※ 表中の数値は標準状態および塗布面が平滑時の値です。施工時期・下地の形状・状態により、多少の差異を生じる事があります。間隔時間は気温23°C(湿度50%)の場合ですが、低温・高湿等で乾燥条件が悪い環境の場合は間隔時間を長めにとってください。
- ※ 新築下地は別途シーラーが必要になります。また改修(旧塗膜)においても、旧塗膜の種類や状態に応じシーラーや前処理が必要な場合があります。
- ※ 材料使用前には必ず、安全データシート(SDS)を確認して下さい。

【標準施工仕様書】

工程	使用材料名と調合割合	所要量 (kg/m ²)	使用器具	回数	間隔時間	
1	下地調整	下地の種類によって適切な処理をする。				
2	目地着色	目地着色材 20kg 清水 0~2kg	0.15~0.40 リンガン、万能ガン 口径:4mm 圧力:390~590KPa ウールローラー	1~2	24時間以上	
3	墨出し	設計や元請の指示に従い目地割りし、水盛、振り下げまたはトランシットを使用して墨出します。				
4	目地棒貼付	専用目地棒(7mm以上)を墨出しに沿って、正確に貼り付けます。				
5	主材塗り	マデストーンVS 20kg 清水 0.4~0.8kg	3.5~4.0 器具:タイルガン、万能ガン 口径:8~10mm 圧力:390~490KPa	1	0~10分	
6	押え	ステンレス製コテ・塩ビ又はポリローラーで主材吹き直後から10分以内に清水を使用し、表面の立っているフレークを寝かすように軽く押えて下さい。			1	0~10分
7	離形紙取り	主材表面が乾燥する前に目地棒上部の離形紙を取り除きます。				
8	目地棒除去	24時間以上乾燥後、目地棒を取り除きます。				

- ※ 注意事項
 - ・ マデストーンVSは塗膜に透過性があります。
塗膜の発色性は被塗物面の色調(下地色や目地着色材の色調)を反映しますので、必要な場合には見本板で事前に確認して下さい。
 - ・ 目地着色材は必ず全面に塗布してください。
目地周辺部分だけに塗布した場合、目地着色材の線が透けて見えることがあります。
 - ・ 主材吹きは、タイルガンまたは万能ガンを使用して下さい。
 - ・ 主材塗装直後に表面の立っているフレークを寝かすように軽くコテ押えを行って下さい。
 - ・ 化粧目地で使用する目地棒は必ず7mm以上として下さい。
 - ・ 目地からはみ出したバリやフレークはカッターやサンドペーパーで除去して下さい。
 - ・ 押さえ方や押え器具(コテ・ローラー)によって仕上がりは多少異なります。